

TOPICS
1

令和6年度水道事業会計決算承認される

**純利益は7億 3,785 万円、収益的収入のおよそ 60%は水道料金、35%は特別利益
収益的支出の過半数は大井川広域水道企業団への受水費が占める**

令和6年度の決算がまとまり、9月議会において承認されました。

収益的収入は18億 4,703 万円、収益的支出は11億 918 万円となり、差し引きで7億 3,785 万円の純利益となりました。収入のうち10億 9,073 万円が水道料金によるもの、特別利益として6億 3,854 万円を収入しました。特別利益は過去の決算数値訂正に伴う修正益であり、**補てん財源**※に関する修正を行いました。

※補てん財源の説明は裏面をご覧ください。

資本的支出は5億 2,175 万円で、延べ 3,262.6mの水道管工事を実施

資本的支出の主な支出科目である建設改良費は5億 2,175 万円で、主な実施事業としては、「市道赤土河東線配水管拡張工事」8,767 万円、「公文名浄水場改良工事（その2）」7,161 万円、「市道古谷高橋原線配水管改良工事」5,727 万円でした。



▲当期純利益の推移(単位:万円)



TOPICS
2

水道料金審議会条例が制定される

令和7年度から8年度にかけて審議会を開催

令和7年9月議会において、水道料金審議会の組織や運営について定めた条例を議会へ提出し、可決されました。

この条例は、水道事業の健全な経営を図るため、水道料金について調査、審議する「菊川市水道料金審議会」を設置し、令和7年度から令和8年度にかけて開催するものです。令和7年度に改定を行った菊川市水道事業経営戦略に基づき、近年の人口減少や物価高騰を踏まえ、適正な水道料金の単価などを審議する予定です。



用語解説

経営戦略…経営戦略とは、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画です。この計画に基づき計画的かつ合理的な経営を行う必要があります。

公営企業…公共団体が経営する企業のことであり、広く「地方公営企業」と呼びます。一般的な市役所業務とは区別され、菊川市では水道事業、下水道事業、病院事業が該当します。



～これってどういうこと？～ 教えて！水道課



Q: 水道管の老朽が原因の漏水が全国で起きているけど、菊川市の対策はどうなっているの？



A: 各地区を回り調査機器を用いて調査を行っています。また、老朽管の付け替え工事を行っています。

さまざまな要因によって起こる漏水は市内でも発生しています。令和6年度は年間462件の漏水が発生し、1日1回程度の頻度で漏水が発生していることになります。

漏水が発生すると、近隣に住む市民の皆さまだけでなく、修繕による交通整理などで、漏水した付近を通行する市民の方々にもご迷惑をおかけすることになってしまいます。

菊川市では、漏水調査機器を用いて、人が漏水の疑いのある箇所や恐れがある箇所の特定制を行い、場合によっては詳細なボーリング調査も行います。また、老朽管の付け替え工事を毎年行い、漏水の発生リスクを抑えるように努めています。



▲漏水調査機器



▲調査時の様子



Q: 補てん財源ってなに？



A: 水道工事等に関する金額の不足を補うお金のことです。

地方公営企業の予算（1年間で使える金額）は、主に収益的収支と資本的収支に区別され、それぞれ独立した予算となっています。菊川市水道事業における収益的収支は水道料金収入、大井川広域水道企業団への受水費の支払いや減価償却費など、主に水道事業の維持管理に必要な金額をこの予算から出し入れします。対して、資本的収支は国県補助金や企業債（借入金）の収入、工事費の支払いなど、主に水道の建設に必要な金額を出し入れします。資本的収支は多くの場合、収入よりも支出が上回るため、その不足額を補うための財源を「補てん財源」と言います。

令和6年度分決算では、この補てん財源残高を修正するため、特別利益を計上しました。

不足分を「**補てん財源**」で補う！

・資本的収支調整額

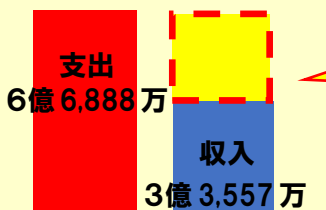
3,698 万円

・損益勘定留保資金

2億 7,243 万円

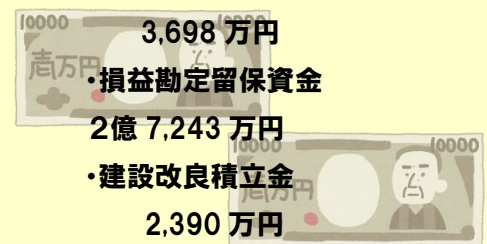
・建設改良積立金

2,390 万円



3億 3,331 万円が不足！

▲令和6年度資本的収支決算額



用語解説

収益的収支…公営企業の経営活動によって生じる収入、支出のことです。菊川市水道事業の収入で主なものは水道料金、支出で主なものは大井川広域水道企業団への受水費と減価償却費です。

資本的収支…将来の経営活動を行うための施設建設や更新に係る収入、支出のことです。